

「外貿コンテナ定期航路（フィリピン航路）の新規開設」に伴う 歓迎セレモニーの開催について

令和8年3月18日に、仙台塩釜港（仙台港区）とフィリピンなどをダイレクトに結ぶ新たな航路が開設し、同日、下記のとおり、仙台港区高砂コンテナターミナル内において、仙台国際貿易港整備利用促進協議会※1による歓迎セレモニーを開催しますのでお知らせします。

本航路の開設は、株式会社日本産業※2及びHRD※3、DP World※4により提案されたもので、CNC社※5のコンテナ船がフィリピンから週1便で仙台港区に寄港するとともに、新たに、仙台港区を拠点とした北海道や東北、北関東との積替え輸送によるサービスが展開されます。

8年ぶりとなる今回の航路開設により、国際コンテナ定期航路は、5航路8便となり、航路が増えることで、本県をはじめ東北各県に立地する企業による世界各国との輸出入の利便性が更に向上することが期待されます。

- ※1 仙台国際貿易港整備利用促進協議会：仙台港区の利用促進等を目的に、県、仙台市、仙台商工会議所等で構成する団体
- ※2 株式会社日本産業：一条工務店グループにおける全ての物流を品質管理まで含めて担っている会社
- ※3 HRD：本社はシンガポールにあり、一条工務店の住宅部材について、研究開発・製造を行っている企業
- ※4 DP World：ドバイを拠点とする世界最大級の港湾・物流企業。日本支社はフォワーダーの業務も担っている
- ※5 CNC社：CMA CGM（フランスに本社を置く、世界第3位のコンテナ取扱量の海運・物流企業）の子会社

記

1 日 時 令和8年3月18日（水）11時30分から正午まで
（開始時間は後ろにずれる可能性があります。）

2 場 所 仙台港区高砂コンテナターミナル内（2号岸壁）

3 取材方法

（1）申込方法

令和8年3月16日（月）正午までに、別添取材申込書を当課振興班あてFAXにて提出願います。

※セレモニー場所である「高砂コンテナターミナル」は、立入制限区域となっており、事前申込がない場合、ターミナル内への入場はできませんので承知願います。

（2）当日の集合場所・時間

令和8年3月18日（水）午前10時45分までにやまやシーサイドパーク手前駐車場（※別添地図参照）にお越しくください。係員がセレモニー場所まで誘導いたします。

4 運航船社

CNC社（代理店：NX仙台塩竈港運株式会社）

5 荷主及びフォワーダー

HRD、株式会社日本産業、DP World

6 寄港地（毎週水曜日（週1便）寄港）

[日本] 仙台(水) → 東京(木) → 御前崎(金) → 門司(月) →

[中国] 厦門(木) → 汕頭(金) → 蛇口(日) → 南沙(火) →

[フィリピン] スービックベイ(金) → バタンガス(日) → マニラ南(火) → 仙台(翌週水)

※コンテナ船4隻により定期航路を就航

※曜日は港への到着日

7 入港船舶

（1）船名 AVIOS（アヴィオス）

（2）全長 172.07メートル

（3）全幅 27.4メートル

（4）総トン数 17,785トン

（5）コンテナ積載能力 1,827TEU※

※TEU (twenty-foot equivalent unit)：長さ20フィートコンテナ（5.9m×2.3m×2.3m）を1TEUとした単位

国際コンテナ定期航路

▽ 国際コンテナ定期航路は中国・韓国方面や東北で唯一の東南アジア航路など5航路・8便が就航中

